

発掘された

# 庄内町の遺跡

令和3年8月2日(月)～8月12日(木) 庄内町文化創造館響ホール ガラリートーク：8月8日(日) 14:00～14:40

## しょうないまち はくつちょうさ 庄内町の発掘調査

庄内平野のほぼ中央に位置する庄内町、平成17年に旧余目町と旧立川町が合併し誕生しました。町には旧石器時代から近世の遺跡が86ヶ所確認されています。

その内9つの遺跡が県教育委員会と山形県埋蔵文化財センターによって発掘調査

されました。今回その中の6つの遺跡をと

り上げて展示を行います。

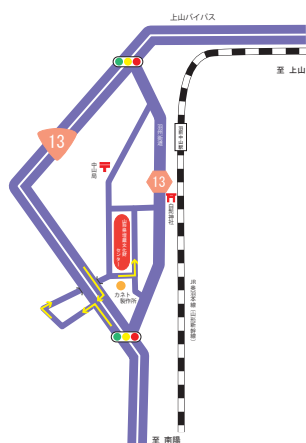
ふるだて そりよし  
古楯遺跡と返吉遺跡は昭和48年に発掘調査が行われ、じょうもん こだい ちゅうせい  
縄文時代・古代・中世  
ぎんせい いこう いぶつ  
・近世の各時期の遺構や遺物が確認されました。

かみだい ちがわら  
上台遺跡(昭和51年発掘)と千河原遺跡(昭和58年発掘)では古代の集落跡が確認されています。

## 展示遺跡

古楯遺跡 返吉遺跡 上台遺跡

東興野B遺跡 千河原遺跡 南口A遺跡



公益財団法人  
山形県埋蔵文化財センター  
〒999-3246  
山形県上山市中山字壁屋敷 5608  
TEL:023-672-5301 FAX:023-672-5586  
HP:<http://www.yamagatamaibun.or.jp>  
E-mail:[yac@yamagatamaibun.or.jp](mailto:yac@yamagatamaibun.or.jp)



## 東興野 B 遺跡

昭和 55 年に狩川バイパス建設に伴う土砂採取事業を原因として発掘調査が行われ  
じょうもん ぜんき ちゅうき じゅうきよあと どころ  
 ました。縄文時代前期・中期の住居跡や土坑が見つかりました。当時の生活用  
どき せっき しゅつど せきぞく せきふ せきすい  
 具である土器や石器が出土しました。石鏃・石斧・石錘なども多数出土し、5000  
しゅりょう ぎょうろ  
 年前に、最上川沿いで狩猟や漁撈などを行いながら生活を営んでい人々の様子が  
 明らかになりました。



発掘調査風景



出土した縄文土器

## 南口 A 遺跡

平成 21 年に高規格道路整備に伴い発掘調査が行われました。古代の住居跡や  
みぞあと きんせい すいろあと  
 溝跡、近世の水路跡などが確認されました。古代の土師器・須恵器などの土器  
はじき すえき どき  
 や、近世の長崎・佐賀などで焼かれた陶磁  
とうじ  
 器が出土しました。鶴岡市の鶴ヶ岡城のも  
つるがおかじょう  
 のを再利用したと思われる赤瓦も見つかっ  
あかがわら  
 ています。



近世の水路跡



発掘調査区全景